

日本人と仲良くなる方法

URL : <https://youtu.be/7JPs6sQkNCg>

今回は「日本人と仲良くなる方法」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。
後半は少しだけ速く（+20%）なり、漢字に「ふりがな」はありません。
学習にお役立てください。

■自己紹介

私はアレックスといいます。日本に来て3年になります。

最初は、日本の生活に慣れるのがとても大変でした。特に、日本人とどうやって仲良くなればいいのか、全然わかりませんでした。日本語も少しずつ勉強していましたが、会話を始めるタイミングが難しかったり、どんな話題を話せばいいのか悩むことがよくありました。

例えば、簡単な挨拶はできても、その後どうやって会話を続ければいいのか、いつも迷ってました。ちょっと話したいと思っても、何を話せばいいのか、自信が持てなかったのです。日本人ともっと仲良くなりたいのに、その方法がわからず、最初の頃は少し戸惑ってました。

私が日本に来たばかりのころは、みんながとても優しく接してくれましたが、どこか距離を感じることもありました。挨拶をしても、その後すぐに深い会話になることは少なく、親しくなるまでには時間がかかることが多かったです。

日本では、すぐに仲良くなるというより、ゆっくりと関係を築くことが大切にされていると感じました。そのため、最初は少しさびしいと思うこともありましたが、それは自然なことだと後で気づきました。日本人は、まず相手を知り、信頼を少しずつ築いていくタイプの人が多いです。だから、最初は距離を感じても、焦らずにゆっくりと関係を深めていくことが大切です。日常的に挨拶をしたり、短い会話を何度も重ねることで、少しずつ関係が深まっていきました。そのうち、挨拶だけでなく、趣味や日常生活についての会話も増え、だんだん日本人の友達ができるようになりました。

日本では、時間をかけて信頼関係を築くことが大事だと実感しています。「どうやって日本人と仲良くなるの？」と悩んでいる人は、私がこれから紹介する方法を試してみてください。少しでもヒントになれば嬉しいです。日本での生活がもっと楽しく、豊かになるように、一緒に頑張りましょう！

■挨拶は基本！第一印象を大切に

日本では、挨拶がとても大切です。挨拶を通して、相手とのコミュニケーションが始まりますし、良い第一印象を与えることができます。

日本人は、礼儀やマナーを大切にするので、適切な挨拶をすることで、その後の関係がスムーズに進むことが多いです。

たとえば、朝には「おはようございます」、昼には「こんにちは」、夜には「こんばんは」といった基本的な挨拶があります。

仕事場や友達とのカジュアルな会話の中では、「お疲れ様です」という言葉もよく使われます。

日本では、働くことや勉強することが大変だという気持ちを共有するために、この言葉がよく使われます。

こういった挨拶を覚えて、使うタイミングを少しずつ学んでいくと、周りの人との会話が自然に始まりやすくなります。

また、挨拶をするときには、笑顔を心がけましょう。日本人は、言葉だけではなく、相手の表情や態度からも感情を読み取ります。

笑顔で挨拶することで、相手に親しみを感じてもらいやすくなります。

最初は緊張するかもしれませんが、笑顔で挨拶をするだけで相手との距離が縮まることがあります。

さらに、挨拶のときにアイコンタクトを取ることも良いでしょう。

日本人は、相手の目を見て話すことで、自分の気持ちが相手に伝わりやすくなると考えています。

私も日本に来たばかりのころは、どうやって挨拶をすればいいかわからず、ぎこちない感じになってしまいました。でも、少しずつ挨拶を練習して、相手の目を見て話すことを意識するようになりました。

それからは、日本人の友達も増えて、会話がもっと楽しくなりました。
皆さんも、まずは挨拶を通して、少しずつ日本の文化に慣れていってください。

挨拶はとてもシンプルですが、日本での生活をもっと楽しく、豊かにするための第一歩です。毎日の挨拶を心がけることで、周りの人との関係が自然に深まることを感じるはずですよ。

■ 日本の礼儀

日本では、礼儀がとても大切です。特に、言葉遣いや行動で相手を尊重することが重視されます。

日本で生活をしていると、いろいろな場面で「ありがとう」や「すみません」などの言葉をよく耳にすでしょう。これらの言葉は、相手に対する感謝や謝罪の気持ちを表すものです。そして、このような言葉を使うことで、相手に対して良い印象を与えることができます。

「ありがとう」は、どんな小さなことに対しても感謝の気持ちを表すときに使います。日本人は、日常生活の中で小さなことにも感謝を表します。たとえば、友達がドアを開けてくれたり、ちょっとした手助けをしてくれたときに、「ありがとう」と伝えます。そうすれば、お互いに気持ちよく過ごすことができます。

また、「すみません」は、単なる謝罪だけでなく、何かを頼むときやお願いするときにも使われます。この言葉を使うことで、相手に対して敬意を持って接していることを示すことができます。

礼儀正しい行動についても触れておきましょう。たとえば、公共の場でのマナーが大切です。電車の中で大声で話さないことや、列に並ぶときは順番を守ることなどは、日本では当たり前のマナーです。

私も最初は、日本の礼儀やマナーに戸惑いましたが、少しずつ慣れていきました。

「敬語」についても紹介します。敬語は、相手に対する敬意を示す言葉遣いです。年上の人や目上の人に対して使います。敬語は難しいかもしれませんが、最初は基本的なものから覚えていけば大丈夫です。

たとえば、「ありがとう」を「ありがとうございます」に変えるだけでも、より丁寧になります。敬語を完璧に使う必要はありませんが、少し意識するだけで相手に良い印象を与えることができます。

私も日本に来てから、最初は礼儀やマナーがよくわからず、失敗することがありました。しかし、日本人の友達に教えてもらったり、自分で学んだりすることで、少しずつ理解できるようになりました。

皆さんも、礼儀を意識しながら生活することで、日本人とより良い関係を築くことができると思います。礼儀を大切にすることで、相手に対して敬意を示し、より深い信頼関係を築くことができます。

■ 趣味や興味が共有する

共通の趣味や興味を見つけると、仲良くなりやすいかもしれません。共通の話題があると、自然に会話が盛り上がり、距離が縮まりやすくなります。

たとえば、スポーツ、アニメ、音楽、映画など、誰にでも話しやすい趣味がありますよね。こういった趣味を通じて、日本人とつながることができます。

私も、初めて日本に来た時にはどうやって話を始めたらいいのかわかりませんでした。しかし、ある日、アニメの話をきっかけに日本人の友達ができました。日本では多くの方がアニメやマンガが好きです。私がアニメの話を振ると、相手も「好きなキャラクターは？」など、どんどん話を広げてくれました。お互いに好きなアニメが同じだと、一気に仲良くなれるかもしれませんね。

また、スポーツの話題もいいと思います。

野球やサッカーは日本でも人気がありますし、実際に一緒にプレーすることで、さらに距離を縮めることができます。日本には草野球やサッカーチームなど、アマチュアスポーツのクラブも多くあり、気軽に参加できる機会がたくさんあります。

自分が興味を持っているスポーツや活動に参加することで、日本人と自然に交流できるチャンスが広がります。

もちろん、趣味が必ずしも同じでなくても大丈夫です。大切なのは、相手に興味を持つことです。

たとえば、相手が日本の伝統的な趣味、茶道や盆栽に興味を持っている場合、自分もその話題に少しでも興味を示します。そうすれば、相手は喜んでその趣味について教えてくれるでしょう。自分の趣味について話すことが好きな人は多いので、興味を持って質問するだけで、会話が盛り上がるのがよくあります。

私は、スポーツやアニメ以外にも、音楽や映画の話でも日本人と仲良くなることができました。日本の音楽や映画も世界的に知られているので、その話題を通じて日本人の友達と会話が弾んだ経験があります。

皆さんも、何か好きなことを見つけて、それを日本人と共有してみてください。

お互いに好きなことを話すと、自然に心の距離が近くなり、友達になりやすくなります。趣味を通じて日本人と仲良くなるためには、まず自分から話しかけることが大切です。ちょっとした話題でもいいので、相手に興味を持ち、話をしてみましょう。それが日本人との深い交流の第一歩になるはずです。

■地域のイベントに参加する

地域のイベントに参加するのは、思っているほど難しくありません。例えば、夏に行われる「お祭り」は、とてもリラックスした雰囲気です。日本人と自然に交流できます。お祭りでは、屋台で食べ物を買ったり、ゲームをしたりする中で、周りの人と話が始まるのがよくあります。私も、初めて日本のお祭りに行ったとき、たまたま近くにいた人と一緒にゲームを楽しみながら自然に会話が生まれました。それがきっかけで一緒に遊ぶようになり、今では良い友達です。

また、日本の「花火大会」もおすすめです。夏の夜空を彩る大きな花火は、誰でも感動します。

こうしたイベントでは、近くにいる人と一緒にその感動を共有することで、会話が生まれやすくなります。何か共通の話題があると、自然に仲良くなりやすいものです。

さらに、^{ちいき}地域^{おこな}で行われる^{ちい}小さな^{かつどう}活動^{たと}、例えば「^{せいそうかつどう}清掃活動」や「ボランティア」
に^{さんか}参加^{さんか}するのもおすすめです。

日本では、^{ちいき}地域の^{ひと}人^{きょうりやく}たちが^{かつどう}協力^{おこな}して^{おほ}イベント^{おほ}や^{おほ}活動^{おほ}を行う^{おほ}ことが多い^{おほ}です。こ
ういった^{かつどう}活動^{すこ}に^{かお}少し^だでも^{かお}顔^だを出^だして^だみると、^{きがる}気軽に^{にほんじん}日本人^{こうりゅう}と^{じもと}交流^{じもと}でき、^{ちいき}地元^{さんか}の^{さんか}人^{さんか}たち^{さんか}との^{さんか}つながり^{さんか}も^{さんか}でき^{さんか}やす^{さんか}く^{さんか}なります。地域^{さんか}の^{さんか}活動^{さんか}は、^{さんか}誰^{さんか}でも^{さんか}参加^{さんか}できる
もの^{さんか}が多い^{さんか}ので、^{きがる}気軽に^{さんか}参加^{さんか}してみてください。

最初^{さいしよ}は^{すこ}少し^{ゆうき}勇気^{ゆうき}がある^{ゆうき}かもしれ^{ゆうき}ませんが、^{おも}思い^き切^きって^{さんか}参加^{さんか}してみると、^{たの}楽しい^{たの}
経験^{けいけん}が^ま待^まっています。イベント^{さんか}に^{さんか}参加^{さんか}することで、^{にほんじん}日本人^{きより}との^{ちぢ}距離^{ちぢ}が^{ちぢ}ぐ^{ちぢ}っと^{ちぢ}縮^{ちぢ}まり、^{しぜん}自然^{ともだち}に^{おほ}友達^{おほ}ができる^{おほ}ことも^{おほ}多いです。

ぜひ、^{にほん}日本^{せいかつ}での^{たの}生活^{たの}を^{たの}楽しむ^{たの}ため^{たの}にも、^{ちいき}こう^{あし}した^{はこ}地域^{はこ}の^{はこ}イベント^{はこ}に^{はこ}足^{はこ}を^{はこ}運^{はこ}んで^{はこ}
みてください。楽しい^{はこ}思い出^{はこ}ができる^{はこ}はず^{はこ}です。

■ 最初の距離感

^{にほんじん}日本人^{はじ}と^あ初めて^あ会^あった^あとき、^{すこ}少し^{きより}距離^{かん}を^{かん}感じる^{かん}ことがある^{かん}かもしれ^{かん}ませんが、^{かん}でも、^{かん}それは^{かん}悪い^{かん}こと^{かん}では^{かん}なく、^{かん}日本人^{かん}にと^{かん}っては^{かん}ごく^{かん}普通^{かん}のこと^{かん}です。
^{にほんじん}日本人^{はじ}は^あ初めて^あ会^あう^あ人と^あすぐに^あ仲^あ良^あくなる^あよりも、^{すこ}少し^{たが}ずつ^しお互^しいを^し知^しって^しか
ら^{しんらいかんけい}信頼^{きず}関係^{きず}を^{きず}築^{きず}みます。

^{わたし}私も^{にほん}日本^きに^き来^きた^きばかり^きの^きころ^きは、^{さいしよ}最初^{であ}に出^{であ}会^{であ}った^{であ}日本人^{にほんじん}が^{やさ}とても^{やさ}優^{やさ}しかった^{やさ}の
に、^{きより}どこ^{かん}か^{かん}距離^{かん}を^{かん}感じ^{かん}ました。

例えば、^た仕事^{しごと}場^ばや^{がっこう}学校^{いっしょ}で^{いっしょ}一緒^{いっしょ}にいる^{いっしょ}ときは^{しんせつ}親切^{しんせつ}にして^{しんせつ}くれる^{しんせつ}けれど、^{しんせつ}プライ^{しんせつ}ベ^{しんせつ}ー^{しんせつ}ト^{しんせつ}な^{しんせつ}時間^{しんせつ}を^{しんせつ}一緒^{しんせつ}に^{しんせつ}過^{しんせつ}す^{しんせつ}こと^{しんせつ}は^{しんせつ}少^{しんせつ}ない^{しんせつ}と^{しんせつ}感じ^{しんせつ}ました。その^{さいしよ}ため^{さいしよ}、^{さいしよ}最初^{さいしよ}は「^{つめ}冷^{つめ}たい^{つめ}人^{つめ}なの^{つめ}かな？」と^{なん}少し^{なん}心^{なん}配^{なん}に^{なん}なり^{なん}ました。しかし、^{なん}何度^{なん}か^{なん}話^{なん}を^{なん}して、^{なん}時間^{なん}を^{なん}か^{なん}けて^{なん}一緒^{なん}に^{なん}過^{なん}す^{なん}うちに、^{すこ}少し^{かんけい}ずつ^{ふか}関^{ふか}係^{ふか}が^{ふか}深^{ふか}ま^{ふか}って^{ふか}い^{ふか}きました。

^{にほんじん}日本人^{あいて}は、^{かんさつ}まず^{かんさつ}相^{かんさつ}手^{かんさつ}を^{かんさつ}観^{かんさつ}察^{かんさつ}し、^{しんらい}信^{しんらい}頼^{しんらい}できる^{しんらい}か^{しんらい}どうか^{しんらい}を^{しんらい}時間^{じかん}を^{じかん}か^{じかん}けて^{じかん}判^{はん}断^{だん}する^{はん}こ
と^{はん}が多い^{はん}です。だから、^{ふか}すぐ^{ふか}に^{ふか}深^{ふか}い^{ふか}友^{ふか}達^{ふか}に^{ふか}なる^{ふか}という^{ふか}より^{ふか}も、^{すこ}少し^{じかん}ずつ^{じかん}時^{じかん}間^{じかん}を^{じかん}か^{じかん}けて^{じかん}関^{かん}係^{けい}を^{かん}築^{かん}いて^{かん}いく^{かん}こと^{かん}が^{かん}大^{だい}事^じです。焦^{あせ}ら^{あせ}ず^{あせ}に、^{あいて}相^{あいて}手^{あいて}の^{あいて}ペ^あー^あス^あに^あ合^あわ^あせる^あ
こと^あで、^{なかよ}だ^{なかよ}ん^{なかよ}だ^{なかよ}ん^{なかよ}と^{なかよ}仲^{なかよ}良^{なかよ}く^{なかよ}な^{なかよ}れる^{なかよ}で^{なかよ}しょう。

もし、最初に距離を感じても、それは決して悪いことではありません。日本では、長い時間をかけて築いた関係がとても大切にされます。だから、時間がたつにつれて、相手もあなたに心を開いてくれるはず。焦らず、少しずつ進むことが日本人との友好関係を築くコツです。自分も最初は不安だったけれど、今ではそのゆっくりとしたペースが大切だと実感しています。相手に合わせて、ゆっくりと信頼を積み重ねていきましょう。そうすることで、素敵な友達が増えていくはず。素敵な友達が増えていくはずです。

■ 日本人とのコミュニケーションのコツ

日本人との会話をスムーズに進めるためには、言葉だけでなく、相手の表情や声のトーン、そして体の動きに注意を払うことが大切です。日本では、会話の中で相手の気持ちや反応を読み取ることがよく行われていて、言葉にしない「空気」を感じ取ることがよくあります。言葉のやり取りだけでなく、相手の気持ちに寄り添いながら会話を進めることで、より深いコミュニケーションが取れるようになります。

そのために、まずは「あいづち」をうまく使うことが重要です。「うん」「そうですね」「はい」など、短く答えるあいづちは、相手に「話をちゃんと聞いているよ」というサインになります。あいづちがないと、相手は「ちゃんと聞いてくれないかも」と感じることもあるので、積極的にあいづちを打つことを心がけましょう。

また、会話の中で「うなずく」ことも大切です。相手が話している時に軽くうなずくだけで、相手に安心感を与えることができます。これは日本の会話の中で自然な行動ですし、相手に「ちゃんと聞いていますよ」という気持ちが伝わります。

私も、あいづちやうなずきを意識し始めてから、日本人との会話がスムーズに進むようになりました。

もう一つ覚えておくべきポイントは「沈黙」に慣れることです。日本では、会話の中で短い沈黙が生じて、それほど気まずく感じられることは少ないです。

むしろ、沈黙は考える時間や、相手の話を受け止めるための自然なものとしてされています。会話が途切れても無理に話を続けようとせず、リラックスして沈黙を楽しむことが大切です。

■ 日本で友達を作るためのヒント

日本で友達を作るためには、自分から話しかける勇気がとても大切です。

日本人はシャイな人が多いので、相手が自分から話しかけてくれるのを待っていると、なかなか会話が始まらないことがあります。でも、あなたが最初に話しかけることで、相手も安心して話すきっかけをつかむことができます。

例えば、学校や仕事場、趣味のサークルなどで「こんにちは！」と声をかけるだけでも十分です。初めて話すときは、相手がどんなことに興味があるかを聞いてみるといいでしょう。「最近何か面白いことあった？」や「どんな音楽が好き？」など、簡単な質問から始めてみると、相手も答えやすくなります。

私も、最初は自分から話しかけるのが少し怖かったです。でも、勇気を出して話しかけたことで、友達ができました。日本人はシャイな人が多いので、最初は少し反応が薄いかもしれませんが、それはあなたに興味がないわけではなく、ただ少し緊張しているだけです。あなたが話しかけることで、相手も安心して会話に参加できるようになります。

私も初めて話しかけたとき、相手が緊張しているのを感じましたが、少しずつ会話が盛り上がり、今ではとても仲良くなりました。自分から話しかけることができれば、日本人の友達作りはもっと簡単になります。

シャイな相手には、あなたがきっかけを作ってあげることで、自然と会話が始まりますし、少しずつ仲が深まっていくはず。勇気を出して、まずは一言から始めてみましょう。その一言が、新しい友達とのスタートになるかもしれません。

■ 継続が大切

日本人と仲良くなるためには、時間と継続がとても大切です。日本では、すぐに深い友達になることは少ないです。そのため、少しずつ時間をかけて信頼関係を築くことが大事です。

何度も会ったり話したりすることで、自然と距離が縮まるので、焦らず一歩一歩進むことが重要です。

私も日本に来たばかりの頃は、友達を作るのが難しいと感じていました。
でも、少しずつ話しかけたり、趣味のイベントに参加することで、徐々に友達
ができました。最初は挨拶やちょっとした会話でも、続けることで関係が深ま
っていきます。

また、同じ人と何度も顔を合わせることもポイントです。日本人は何度も顔を
合わせることで、相手に対する信頼を少しずつ築く傾向があります。
たとえば、学校や職場、趣味のクラブなど、定期的に顔を合わせる場所に参加
するとよいでしょう。

繰り返し会うことで自然に会話も増え、信頼関係が深まります。

最初は挨拶だけだった関係が、少しずつ会話が増えていき、気がつけば一緒に
出かけたり食事をしたりする仲間になった友達もいます。何かを一緒にすること
で、さらに距離が縮まり、深い関係に発展していくでしょう。

最初は距離を感じても、時間をかければ必ず友達ができるはずですが、友達作り
は時間がかかりますが、その過程も楽しめると思います。その先に素敵な友
達が待っているはずですが。

「日本人と仲良くなる方法」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

